

きょうから、たいこうせつがはじまります。12がつ25にちのクリスマスのひまでイエスさまをむかえるために、こころのじゅんびをするためのきかんです。

そのあいだに、きょうかいがっこうからおくられてきた「アドベント」(たいこうせつ)カレンダーのしかくのなかにあるえを、ぬりましょう。しかし一つのことをまもってほしいのです。「しゅのいのり」と「アベ・マリア」をまいにち、おいのりをしてから、ぬるようにしましょう。

また、おてがみにかいてあったように、わたしたちはまいにち、たべるものがありますが、たべられないこどもたちがいるので、なにかがまんして、そのおともだちにすこしでも、わたしたちががまんしたことをとどけられますように、とおもいながら、がんばってみましょうね。がまんしたぶんを、ちょきんばこにためていってね。クリスマスのひにリーダーがあつめて、そのこどもたちのところにとどけます。

マルコ13・33~37

「そのとき、イエスはでしたちにいわれた」「きをつけて、めをさましていなさい。そのときがいつなのか、あなたがたにはわからないからである、それは、ちょうどいえをあとにたびにでるひとが、しもべたちにしごとをわりあてて、せきにんをもたせ、もんばんには、めをさましているようにといいつけておくようなものだ。だから、めをさましていなさい。いつ、いえのしゅじんがかえってくるのか、ゆうがたか、よなかか、にわとりがなくころか、あけがたか、あなたがたにはわからないからである。しゅじんがとつぜんかえってきて、あなたがたがねむっているのを、みつけるかもしれない。あなたがたにいうことは、すべてのひとにいうのだ。めをさましていなさい。」

イエスさまは「めをさましていなさい」と3かいも、きょうのふくいんしょでおっしゃっていますね、それは、まいにち、どのようなたいどで、いきかたで、イエスさまをまちのぞんでいるかどうか、といういみです。

イエスさまがくるのを、なんにもしないで、じっとまつのではなく、どのようにすごしていくのかということ。じぶんのいえに、すきなかたがきてくれるのをきいたら、ワクワクしてまっています。おなじようにイエスさまが、わたしたちのいえにこられることを、29にちからとくべつに、まつじきです。クリスマスまでワクワクして、イエスさまがきてくれるのをまちましょう。

みんなのいえに「アドベント」(たいこうせつ)カレンダーは、もうつきましたでしょうね。

あさかよるにおもいだして「しゅのいのり」と「アベ・マリアのいのり」をと覚えてね。あさでしたら「きょういちにちのため」よるでしたら「きょうのいちにち、ありがとう」とかんしゃしましょう。じぶんのまわりのひとのことをよくみて、じぶんからすすんでひとのためになる、よいことをするようにつとめましょう。なにか、おてつだいでできないかも、みてほしい。

こころのじゅんびをするきせつです。ときどきイエスさまのことをわすれるし、イエスさまからはなれていってしまうときもあります。たとえば、けんかをしたり、うそをついたり、ひとをいじめたり、わるぐちをいったりなどです。これらのことはイエスさまをかなしませることになります。イエスさまをむかえるためにきれいなこころでむかえましょう。わるいことをするかわりに、じぶんですすんでよいことをしましょう。

この4しゅうかんのあいだに、じぶんがどのようにしたら、イエスさまをよくむかえられるか、かながえてみましょう。それが「めをさましている」ことになりますよ。